

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和6年 7月 5日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)  
大阪府高槻市西冠3-34-3

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)  
オーティーティーロジスティクス株式会社  
代表取締役 水田 陽一

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項  
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項

の規定に基づき、  
事業者行動計画を策定 (変更)  
事業者行動報告書を作成  
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	オーティーティーロジスティクス株式会社 代表取締役社長 水田陽一
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	大阪府高槻市西冠3-34-3

1 事業者の概要

事業所の名称	オーティーティーロジスティクス株式会社 栗東流通センター					
事業所の所在地	滋賀県栗東市大橋7-2-13					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	4	7	0	9	※ 産業分類・細分類名称を記載 その他管理、補助的経済活動を行う事業所
事業の概要	運輸・倉庫・代行作業					
従業員の数	50	人	操業時間	10	時間/日	
該当する事業者 の要件	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	台	熱源設備	台	照明設備	325 台
	コンプレッサ	台	空気調和設備	25 台	その他	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	2023	年度	報告対象年度	2023	年度
	終了 年度	2023	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

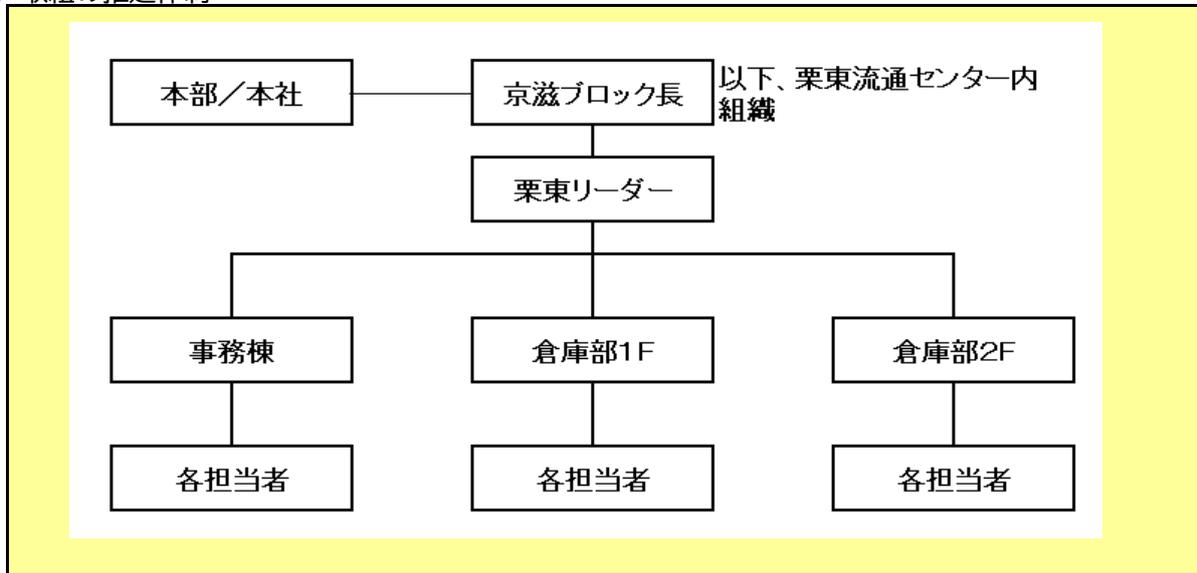
計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

トラック運送業および倉庫業に携わる企業として地球環境問題／温暖化防止に向けて企業努力をしています。  
栗東流通センターにおいては近畿の水がめ「琵琶湖」の湖畔に位置する企業としてより一層の環境問題に対する姿勢を確立しています。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

- 無駄なエネルギーの使用を省く
  - ・トラック運行時の省エネ運転を心掛ける。
  - ・倉庫内 作業スペース以外の照明設備の消灯。
  - ・倉庫内 作業フロア以外の空調設備のOFF。

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	事務棟の蛍光灯 : LED照明器具への更新	2023年	2023年12月 実施
2	設備導入	倉庫棟の水銀灯 : LED照明器具への更新	2023年	2023年12月 実施
3	設備導入	倉庫棟および庇の照明器具 : LED照明器具への更新	2023年	2023年12月 実施
4				
5				

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>(目標) 設備更新初年度 原単位ベース 5% の削減を目標とする。</p> <p>目標値=原単位(面積)管理として 総エネルギー量 1446GJ / 営業面積 2770m<sup>2</sup> =0.522GJ/m<sup>2</sup> を基準として目標管理を行う。</p>	<p>(実績) 1388GJ/2770m<sup>2</sup> =0.501GJ/m<sup>2</sup></p> <p>(削減) 0.021GJ/m<sup>2</sup> (削減率) 4%</p> <p>仕事量の増加に伴い、目標値には届かず。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
		(2023)年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
原油換算エネルギー使用量	kL	37	36			
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	43	58			
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	43	58			
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>					
HFCs	t-CO <sub>2</sub>					
PFCs	t-CO <sub>2</sub>					
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
NF <sub>3</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
エネルギー等原単位の推移		0.522	0.501			

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。